ウルトラＱザ・ムービー　星の伝説（1990）

メディア 映画
ジャンル ＳＦ　ファンタジー
製作国 日本
色彩 Color
時間 106分
初公開日 1990/04/14

【解説】

古墳の近くで連続しておこる原因不明の殺人事件。時を同じくして、古代史スペシャルを製作中のＴＶ局でも不思議な出来事がおこっていた。失踪した番組ディレクター・浜野の謎を追い、ＴＶ局員万城目淳・戸川一平・江戸川由利子の３人は調査を開始する。いく先々で浦島伝説・天女伝説に関する奇妙な符号が一致。３人はついには伊豆・竜宮島にたどりつく。「浜野さんを探さないで！」という警告とともにあらわれた巨大遮光器土偶・金色に輝く菩薩のような宇宙人。激しく攻撃され３人は逃げ出した。「帰りましょうよ！」という一平を押え込み、竹取塚へと向かう万城目。彼の前に星野真弓という美しい女が出現。「浜野さんを探さないでください」とまたも警告を放つ。

調査を続ける彼らはついには真弓との話し合いに成功。自然を愛する万城目に、“常世の国”の伝説を語る真弓。生命・自然と一体となった営みが常世であり、浜野は常世の国を信じる人々と一緒にいると彼女は告げる。そして、常世の国を信じる人々は、日本では迫害されつづけてきたのだ、とも語る。真弓が警官に問い詰められそうになったその時、出現した古代神獣薙羅（ナギラ）。巨大な力を奮う薙羅の前になすすべのない万城目たちであった。なんども警告を放つも、古代史スペシャルを製作したり、観光開発をやめない人類たちに怒りを燃やす真弓。ついには３人を殺害せんとする。危機一髪！のその時、止めに入る浜野。浜野と再開した３人は、真弓が異星人であると告げられる。宇宙から、地球の自然を守るという使命を帯びてやってきた彼女は、常世の国を信じている人たちならば使命に賛同してくれるのではないか、と思い、接触をはかっていたのだ。

常世の国を信じる人々に会った３人。自然と共生する人々の姿に感銘を受け、自分なりのやりかたで自然を守っていくことを決意する。しかし、現実はそれを許さなかった。常世を信じる人々の話が漏れ伝えられた瞬間、リゾート開発の手が迫った。そんなとき、またも出現した古代神獣薙羅（ナギラ）。常世の国を信じる人々の怒りをうけたかのように暴れる。竜宮島から大型宇宙船が発射される。常世の国を信じる人々が、深い絶望のなか星の国へと旅立っていったのだった……。

日本人の源流など、佐々木守の得意とするテーマが前面に押し出された脚本を、名パートナー実相寺昭雄がメガホンをとって映像化。大木淳吉・中野稔などベテラン陣が結集し、劇場に『ウルトラＱ』を蘇らせた。石坂浩二のナレーションも、ムードを盛り上げるのに一役かっていた。さいとうたかを作・劇画予告篇ＢＯＯＫのついたスペシャル券も限定発売された。先着２０，０００名に遮光器土偶の目の形にデザインされたＱザ・ムービーグラスがプレゼントされたのもうれしい配慮といえる（が、地方の映画館ではダンボール箱にあけられ「ご自由にお取り下さい」扱いになっていた）。なお、本作は公開途中で『ウルトラＱ　五郎とゴロー』『ウルトラＱ　１／８計画』との三本立て公開に変更された（アニメとのカップリングだった劇場もある）。

【クレジット】

監督	実相寺昭雄
製作	円谷粲
プロデューサー	宍倉徳子
	野村芳樹
脚本	佐々木守
撮影	中堀正夫

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.

怪獣デザイン	池谷仙克	
視覚効果	中野稔	
美術	水野伸一	
編集	井上治	
音楽	石井眞木	
特技監督	大木淳吉	
特技・撮影	大岡新一	
特技・美術	藤田泰男	
アクション	深沢政雄	
ナレーター	石坂浩二	
出演	堀内正美	浜野哲史（常世人の子孫）
	柴俊夫	万城目淳（ＴＴＶ局員）
	荻野目慶子	江戸川由利子
	風見しんご	戸川一平
	高樹澪	真弓（ワダツジン）
	中山仁	一ノ谷博士
	寺田農	
	山内としお	
	小林昭二	
	毒蝮三太夫	
	深沢政雄	

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.